

角田市立学校の2学期制に関する方針

令和4年7月21日
角田市教育委員会

角田市立学校の2学期制に関する方針について、次のとおり決定する。

1 2学期制の評価及び移行

令和3年10月から内部検討を重ねてきた2学期制について、令和4年5月に教職員及び児童生徒の保護者に対してアンケートを実施した。当該アンケートは、教職員には全職員を対象にその移行の是非について問い、児童生徒の保護者には移行に向けての意見等を問い掛ける内容となっていた。

当該アンケートの結果は、教職員の7割からの回答を得て、その内約8割が2学期制の移行が望ましいとしており、学期末評価における評価期間が長くなることで丁寧な評価が可能になる等の理由により教職員の多くが2学期制を有効と考えていることが確認された。

現在、近隣市町村の多くが2学期制としており、中総体等を含めた学校関連の行事やその他の児童生徒を対象とした圏域の行事も自ずと2学期制を基調に編成されていくことを考慮すれば、教職員に実施したアンケートの結果もあり、2学期制への移行は適当と判断できる。

一方、児童生徒の保護者からの意見等では、2学期制に対し期待するものもあったが、評価回数の減少やそれに伴う学力低下を不安視するものもあった。これまで3学期制であった本市の保護者及び児童生徒にとっては、学期制の変更に伴う環境の変化は少なからずあるのは当然と言え、それらの不安を取り除きながら移行していくことが肝要と言える。

2 移行方針

2学期制の移行に関し、次の方針に基づき進めていくものとする。

(1) 2学期制への移行時期

令和5年4月1日から2学期制へ移行

(2) 2学期制への移行に向けた基本方針

2学期制への移行に際し、児童生徒の学びの環境変化や評価回数の減少等に対する児童生徒及びその保護者の不安解消を図りながら進めていくものとし、次の基本方針を掲げる。

①夏季休業日前等の保護者面談の設定

評価期間が長くなることを踏まえ、夏季休業日前等に保護者面談を行う。評価期間が長くなることは、その期間内における評価を丁寧に行える環境が整うことになるもの

の、その経過について夏季休業日前等に保護者へ伝える必要がある。児童生徒のつまずきを家庭と共有し、学校と家庭の双方で連携・協力することで児童生徒のつまずき解消にあたる。

②年間授業時数の確保

始業式及び終業式の回数が減ることに伴い、その分を授業時数に充てることが可能となる。新型コロナウイルス感染症の影響等により臨時休業等の措置が行われる可能性があることから、授業時数に余裕をもって児童生徒の指導にあたる。

③秋季休業日の設定と夏季休業日の変更

1 学期後に秋季休業日を設け、2 学期への準備や気持ちの切り替えを行う期間とする。秋季休業日を、10 月の第 2 月曜日の 2 日前から 2 日後までの 5 日間とするとともに、夏季休業日の最終日を現行の 8 月 25 日から 8 月 23 日へ 2 日繰り上げ、年間授業時数を確保する。

④切り替え初年度におけるケア

2 学期制への切り替え初年度においては、児童生徒及びその保護者に戸惑いが生じることが予見されることから、年間行事予定表（状況により変更もある）を予め示しながら、丁寧に教育課程の実施にあたる。

(3) 2 学期制の移行に向けたスケジュールの周知・啓発等

2 学期制の導入のスケジュールを次のとおりとし、これについて教職員、児童生徒及びその保護者等へ周知・啓発等を実施する。

□スケジュール

| | |
|------|--|
| 8 月 | 保護者、児童生徒及び教職員あて検討結果のお知らせ (2 学期制移行の予告) |
| 9 月 | 議会に報告 |
| 10 月 | 学校において年間行事予定の作成 |
| 11 月 | 教育委員会で進捗状況の最終確認 |
| 12 月 | 保護者及び児童生徒への詳細のお知らせ |
| 4 月 | 2 学期制への移行 |